

Rotary



白河西ロータリークラブ

SHIRAKAWA WEST ROTARY CLUB

創立 1986 年



ロータリーは機会の扉を開く

2020-21年度国際ロータリーテーマ

2020～2021年度クラブ目標

『35年目の再構築 ロータリーの源流へ』

会長 吉野敬之
幹事 堀田一彦



第1648回例会

令和2年12月3日 (12:30～13:30)

○ソング

- 国歌 (君が代)
- 奉仕の理想

○スマイルBOX

- 吉野敬之会長 (本日は湊さん、佐川さん、根本さん、大住さん卓話ありがとうございました。女性の会員の皆様が活動しやすい環境作りにこれからも注力してまいりますので、今後共宜敷くお願い致します。)
- 堀田一彦幹事 (湊会員、佐川会員、根本会員、大住会員、卓話ありがとうございました。)
- 齋藤孝弘会員 (先日のゴルフ、残り2ホールで2オーバー。久しぶりに…。結局42 1バーディーで。とりあえずスマイル。)
- 村上堅二会員 (本日は女性会員の方々、卓話ありがとうございました。そして誕生日のお祝い、ありがとうございました。)
- 宮本多可夫会員 (本日は女性会員の卓話、御苦労様です。今後とも大いに活躍されることを期待しております。)
- 金田昇会員 (女性会員のみなさま、卓話ありがとうございました。老若男女すべての人が楽しめるロータリークラブにしていきたいと思います。)
- 石部辰雄会員 (結婚記念お祝を戴きましてありがとうございました。53年の長きをかみしめております。)

▶第1648回例会出席状況 (R2年12月3日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	46名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	14名
Ⓓ 全正会員数	60名
Ⓒ ①の出席者数	27名
Ⓔ ①のメイクアップ者数	2名
Ⓕ ②の出席者数	9名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓕ (メイクアップ補填後の出席会員数)	38名
Ⓗ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓕ)	55
Ⓘ = Ⓖ / Ⓗ × 100 (例会出席率)	69.0%



▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間



吉野敬之会長

皆さん、こんにちは。本日もお忙しい中、多数ご出席いただきましてありがとうございます。今はいよいよ12月となりまして、ロータリー月間で行きます「疫病予防と治療月間」ということになるようでございます。今日は、それにちなまない全然関係のないお話をさせていただく予定でございます。会長になりますと、皆さんいろいろと心配事等がありかと思えます。今、うちのクラブで行きますと35周年でございますので、パスト会長が34名存在しております、現在現役で会のほうに出ておられる方が17名程いらっしゃいます。その方々も、多分気になされていたんじゃないかと思う事の一つに出席率というものがございます。出席率といいますのは、やはり個人個人の環境で皆さん、お仕事の都合であるとか、その時に置かれてる環境によって出席できるできない等は決まるものだと思いますが、やはり執行部といたしましては出席率の善し悪しというのは自分たちの運営方法に関してあまりうまくいってないんでないか、出席率が悪ければですね。そういうふうに、自虐的に思いがちなものであります。今年度の出席率が、昨年とどうかということに関してはお話をさせていただきますが、今年度はやはりコロナということで、特に皆様方と個別にお話したことはございませんが、やはりそれを気にされて出席されない方も中にはいらっしゃるのかなというふうには思っております。現実問題としまして、医師会のほうではできるだけそういった会合には顔を出さないよというふうなお達しが出てるといことではございますが、先週の例会、新入会員歓迎会の席には片倉先生がそれを押して出ていただいたりすると、やはりそれを見ると私たちも嬉しいなというふうに思うわけでございますが、これはそういう意味では、出席できない方がいらっしゃっても致し方ないなというふうに思いますし、まさに今年度はそういう一年なんだろうなというふうには思っております。ただ、先週もちょっとお話させていただいたように、出席は会員の義務であり権利であると思えます。私は個人的には、これは権利であるというふうに思っております。先週もお話させていただいた内容で、やはりいろいろな方とお知り合いになれるのが、ロータリーの良さであり、いろいろな方とお話しているんな見識を深められる場所がロータリーである。それがやはりロータリーの魅力の一つでないかというふうなお話をさせていただきました。やっぱり、それに従えば是非出席をしていただいて、普段お話しができないような方々と膝を交えてお話しする機会を有効に使っていただきたいと思っておりますし、是非皆様方が楽しく出席、是非出席したいというふうに思えるように、私たちも運営側といたしまして今後とも努力はしていきたいというふうには思っておりますので、よろしく願いいたします。本日のプログラムは、女性会員による卓話ということでございます。実は今年度始まった当初からわたくしガバナー事務所にはお伝えしてはるんですが、今日皆さんお手元のほうにガバナーズ届いてると思えます。その中に、会員

の人数というふうな欄がございまして、県南分区、白河西クラブは今年度始まり当初から、うち女性会員というところがいつも4名となっております。当クラブには、5名の女性会員がいるんだと何度もお伝えしてはるんですが、どうしても一人認められてないようで、これは根本あゆみちゃんの為に、私は今後ともガバナー事務所とは戦っていく強い決意がございまして、今日は女性会員としては是非お話をさせていただければと思っております。ちょいちょい今年度のガバナー事務所は、いろいろな事務手続き上手落ちがございまして、これはその一環だと思いますがきちんと伝えておきたいと思えます、今日は、皆さん女性会員メンバーの貴重なお話を楽しみにしておりますので、よろしく願いいたします。

■幹事報告

堀田一彦幹事

- 国際ロータリー日本事務局：新型コロナウイルス感染拡大防止に向けた「日本事務局在宅勤務」のお知らせ
- 東白川RC 小林千秋：地区「10年のあゆみ」資料の件
- 福島県クリーンふくしま運動推進協議会 県南地域協議会 会長 山下勝弘：令和2年度の協賛金納入について
- 国際ロータリー第2530地区2019-21年度 ガバナー 芳賀裕、地区幹事 安藤正道：「2019-20年度地区会計報告追加送付のお知らせ」（お詫び）
- RI2530地区2018-19年度 ガバナー 平井義郎：[RI2530-it：260]昨日開催されたロータリー研究会について
- 国際ロータリーデータサービス部：ロータリーのデータベースで情報が更新されました
- 国際ロータリー日本事務局 業務推進・IT室：疫病予防と治療月間 リソースのご案内
- 国際ロータリー日本事務局 経理室：2020年12月RIレポートのお知らせ
- RI日本事務局：財団NEWS12月号
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナー 石黒秀司、地区幹事 関根信：懇親会登録料の返金について
- 国際ロータリー第2530地区 ガバナーエレクト 志賀利彦、次期地区幹事 蛭田修二：ガバナーエレクト事務所開設披露式の御礼

■委員会報告

鶴丸彰紀委員

- 親睦委員会
 - ・結婚記念日
石部辰雄会員、阿部克弘会員
 - ・誕生日
今井令雄会員、永野文雄会員、居川孝男会員
村上堅二会員、大竹憂子会員



○雑誌広報委員会

池田浩章副委員長



皆さん、こんにちは。それでは雑誌広報委員会から、今月の「ロータリーの友」の読みどころをご紹介します。まず、横組みですけども3ページ。「R I 会長メッセージ」ということで、2020年はコロナのパンデミックで大

変であったということが書いてございます。続きまして、7ページ、世界のクラブの例会は今はどうなってるかということで、イギリスとかインド、ドイツ、アメリカ、ブラジル等々載っておりますが、ほとんどがオンラインで行っているところがございますが、アメリカにおいては通常例会に戻ったそうです。戻ったが為になんか世界一コロナがあるということで、この辺はどうなのかなという気もいたします。続きまして、10ページ。今月、月間テーマということで「疾病予防と治療月間」ということで、「初めての国際奉仕事業の楽しみ方」ということで載っておりますのでご覧になってください。続きまして、12ページは「どうなる、クラブの今後」ということで、新型コロナウイルス感染症の影響に関するアンケートのパート2ということで載っておりますので、この辺も読んでいただければと思います。福島県関係では16ページに、会津若松中央ロータリークラブから会費の免除、減額ということで、今後のさらなる会員増強のために入会金条項を撤廃しましませうといった意見なんかもあります。そのほか、いわき四倉ロータリークラブでは、会員の減少、高齢化ということで、高齢化によって病欠欠席が増えたというような報告もがございます。続きまして、22ページは親日国でベスト3くらいに入ります台湾のことが書いてございます。台湾の台北都市でございます。2021年6月に、R I の年次大会が行われるそうです。縦組みは4ページの「環境中の有害物質の健康に与える影響」ということで、アレルギーについて書いてございます。私のことではございますけども、私の息子なんかもアトピー性皮膚炎で、像の肌のようになってしまう大変なことになったわけでございますけども、小さなお子様等お持ちの会員の皆さんはその辺の事情をよく読んで対策等を立てられればいいかなと思います。それから最後になりますが、16ページの「友愛の広場」というのがございまして、「利害関係のない、本当の友情」ということで、東京恵比寿ロータリークラブの松島トモ子さんという、この方女優の方かなと思ひまして読みましたらそうでありまして、二人三脚で芸能界を生きてきた母が95歳の時、重度の認知症に罹り誰にも相談せずに退会したということです。読んでいきますと、3年後にまたこちらのロータリーに復帰されたそうです。私からしますと、松島トモ子さんといいますとライオンに食べられそなたという方で、ライオンだけかなと思ひましたら後で聞きましたら豹にも襲われたと。豹とライオンに襲われましたけども、しぶとく生き抜いてきたということで、なんか世界中に有名な方だそうです。アフリカのウガンダでは、ライオンカットということでなんかすごく有名だそうです。そのほかにもいろいろ記事が載っておりますので、皆さん隅から隅まで読んでくださいますようお願いいたします。

○ゴルフ愛好会

運天直人会長



来年の1月5日、初打ちコンペを行いたいと思っております。場所は、「袋田の滝カントリークラブ」ということで設定させていただきました。詳細につきましては、後日ファックスさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。

■本日のプログラム

女性会員卓話

○湊 洋子会員



皆さん、こんにちは。ちょっと時間がないので早口になるかと思いますが卓話をさせていただきます。今回、傷害保険を担当しておりますので、ドライブレコーダーについてちょっと説明をさせていただきます。資料を配布させていただきましたので、資料を見ながら説明させていただきます。今や、事故やあおり運転などによりドライブレコーダーが普及しています。市販のドライブレコーダーもありますが、保険会社での特約によるドライブレコーダーをお勧めしたいと思います。これは損害保険各社提供しておりますので、皆様の入られました保険会社にご確認をお願いいたします。ただ、これから説明するのは保険会社によって微妙に違う部分もありますのでご了承ください。まず、GPSにより位置情報が確認できます。保険会社の提供する、そのドライブレコーダーでね。それによって、レッカーの手配が早くなります。GPSにより位置情報がわかると、即レッカー会社に連絡してすぐ来てもらうという方法が取れます。次に衝撃により30キロ以上の速度ですと、自動発報されます。自動発報というのは、オペレーターに繋がります。そして、話しかけてくれます。そして、大丈夫ですかということで話をしてくれます。それで例えば応答がない場合は、後でちょっと出てきますが、そのように応答がない場合には警察を呼んでくれます。その現場です。怪我ありませんかとか、いくら話しかけても出られない場合には、そのような対処をしてくれますね。例えば、単独で山やなんか山林に行ったり、ちょっと遠方に一人で行った時に、怪我で連絡できない場合なんかは、自爆してしまつて本当に大きな怪我してしまったという場合にはとても助かるかと思ひます。それと、次に修理工場との連携も速やかになります。結局、すぐにレッカーで運ばれるので、そうすると連携が早いのでデータも保険会社のほうに流れますので、そのような形になりますね。早めに対応できます。それと、SDカード上書きとあるんですけども、SDカードは通常、民間ですと結構早い時間になるような感じなんですけども、東京海上の場合には7時間半まで持続しますので、上書きするまでの間が結構長いですね。市販のよりは長いように思われますね。あとは、自動的にバージョンアップされます。これは何年か経つと新しい内容にも変わりますので、それによってどんどんバージョンアップされます。ただ、市販の場合にはやはり制限があると思うんですね。何年かおきには買い替えなきゃいけないというのもあるので、そういった部分ではお勧めできるかなと思いますね。また、これによって一年間安全運転診断をしてくれます。そうする

と、あなたの運転はこうですよとか、ブレーキが多いですよとか、ちょっとスピードが速いとか、そういった診断を毎年出てきます。ですので、聞くところによりますと点数が出てくるんですよ。80点とか90点という一年間の運転の。それによって今後、割引の対象になる場合もあるらしいですね。東京海上のほうはまだ別なんですけど、もうなってる保険会社もあるらしいので、そういった面でもメリットはあります。来年4月から、東京海上のドライブレコーダーが外と社内の同時映像が可能になります。そうしますと、後方と両側もある程度映るので可能となりますね。ですので、そういった場合に側突とか追突といった部分と、自分の運転の内容もすべて映るようになりますので、そういった部分で立証できるのがすごく楽になるかなと思うんですね。あと、駐車後30分の衝撃などは検知してくれます。通常、市販のですとエンジン切っちゃうともうそこで映像が遮断されるんですけども、一応切っても30分間の衝撃は検知しますので、当て逃げなど30分以内に限定されてしまいますけども、映像が映るようになります。今後、どんどん発達していきますので、ドライブレコーダーもですね。また、それに加えて安全運転装置のある車が増えてきますので、事故はだんだん回避はできるかなとは思っていますので、もし皆さんの入ってる保険会社さんでもご相談して、もしあるのであればそちらのほうを市販のよりはいいかななんて思っていますので、皆さんで検討してみてください。以上で、私のほうの卓話とさせていただきます。

○佐川京子会員



皆さん、こんにちは。私来年3月のお誕生日で還暦を迎えます。自分ではそんな歳のこと普段は全然忘れていたんですけども、それで、20、30、40、50、60、70というふうに、その新しい年代に突入する時には、やはり皆さんも同じようにいろいろ健康の面であるとか、いろいろ心配すると思うんですけども、私も至って健康なんですけれども、今年に入ってから病院で私のいつもかかりつけの病院さんに「佐川さん、早く医者に行ってください。」って言われたんですね。それで、なんてことないんですけども、頭のとっぺんにちょっと腫瘍ができたんですよ。それで、去年の暮れだったかな。渡辺先生に、「先生、ちょっと私の頭触って。」と言って触ってもらって、先生は「いや、大丈夫じゃない。」なんて言われて、私も痛くも痒くもないので放っておいたんですね。そしたら、病院さんが「このまま放っておいたら佐川さん、はげに見えるから。」って言われて、それは困ったと思って、早速皮膚科に行ったら、これは早く病院で手術したほうがいいですみたいに言われて、結局厚生病院で先週の火曜日に一泊二日で手術しまして、頭部皮下腫瘍摘出手術というものだったんですけども、もちろん陽性で頭蓋骨の外側なので頭皮の下という形だったので、本当に切開して中身を取って縫い付けるだけで、2センチちょっとぐらいに大きくなってたんですね。自分ではただ頭こう触らないような感じで何とも思ってたんですけども、でも手術もそんなに1時間もかからないで終わるというような形で。その腫瘍を見せてもらったんですね。そしたら、ぱっと瓶の中に浮かんでるような

形で、そしたらそれがパッと見た瞬間、なんかイカの目玉みたいというか、白いんですけども白くて本当になんかイカの目玉まるごと取り出したみたいなきよろきよろしたみたいな感じで、自分で思ったよりもちょっと大きくてびっくりしたんですけども。何でそんな腫瘍ができるのかなと思ったりして。私、自分の兄弟も、叔父、伯母ともがんがないんですね。それで父方も母方も幸いなことに身近にいないので、すっかりそのがん的な事に関しては恥ずかしながらの話、がん検診を受けたことがなくて、市の保健士さんたちには「佐川さん、いい加減にしてください。ちゃんと一年に一回受けてください。」とこう言われるんですけども、まるっきり本当に自分はなるはずがないなんて思っててやってなかったもんですから、いきなりそんな陽性だった腫瘍と言われて驚きまして、来年、還暦を迎えることだし、やはりちょっと真面目に健康診断を受けなきゃなんていうふうに思いました。それで、局所麻酔というか、頭のとっぺんだけだったのでその手術室の中で先生とかスタッフの会話が全部聞こえるんですよ。それでちょっと驚いたのが、頭切開してガリガリと削り取るようにというか始まった時に、先生が何とかという機械持ってきてと言ったんですよ。そしたら、「何、動かないじゃない。」って話をしてて、電気が通らない話してて「別なの持ってきてよ。」なんて言われて、別なの持ってきたんですけど、それも動かない話してて、しまい先生が「何やってんの。」と怒られたりして、いったいこれは何が起こったんだ、どうなるんだと思ったんですけども。そしたら、先生が言ってるのが「肺の手術でも動かなかったよね。直しとけて言ったでしょう。」みたいな話になって、女医先生だったんですけども、自分の頭こんな開いてる形で一体どうなるんだろうと。そして、先生が「全身麻酔の患者さんだったら何もわからないけど、患者さん全部聞いてんだよ。」なんて言いまして、そう言われても私は口を挟む間もない状況、本当にまな板の鯉でこれはどうしたものかと思って、結局のところスタッフも怒られながらも線を描いたらしくて、「先生、通電しました。」って始まって、その後手術が引き続き行われたんですけども。なんか、手術室ってそんなことがドラマでもあるまいしとか思いながらありました。とにかく、私が議員だとか何とかというの先生とかには別に患者で行ってて何も言っていないし、先生もそんなことも多分知らないんだろうな。只今、私、議会の中で教育福祉の常任委員長をしているので、白河厚生病院の役職柄というか審議員にもなってます。それで年に2回ぐらいなんですけど病院で会合があるんですよ。それで、だから手術に使う用具くらいちゃんとしておくようにじゃないんですけども、一言申し入れたほうがいいかななんて思ったりしています。とにかく、健康のことは皆さんもそうだと思うんですけども、夢中でまだまだ皆さん元気で働き盛りの方も沢山いらっしゃると思うんですけども、今回私はそんな別に命に関わるような話でもなくて、何かちょっとおできを取ったような感じだったので大したことはなかったんですけども、やはりもう還暦ということもあって、本当に保健士さんによく言われるように真面目に健康に気を付けてやっていかなくちゃいけないなというふうに思いました。お話をいただいて何を話そうかと思った時に、来週の月曜から12月の定例議会

を始まるんですけども、それで一般質問とか、執行部から提案された議案の審議とか別に、議員が三日間に渡っている執行部にいろいろな事を質問する時間があるんですけども。今、議員は24人いまして、今回は15名が一般質問ということで通告をいたしまして、私は今回は女性活躍といいますがよく言われています。そして、今年はコロナで、本当に何か震災であったり、それからそういうような大きなことが起こった時に一番窮地に追い込まれるのが弱い立場の人たちということがあって、今回のコロナでもやはり女性で窮地に追い込まれた人が沢山いて、老若男女、女性ばかりじゃなくて、もちろん会社とかいろいろ男性でも大変な方はいるんですけども、特に若い女性といいますが本当だったらいろいろ困った時に市役所であったり、保健福祉のほうに助けを求めていいわけなんですけれども、我慢強いといいますが、そんなことぐらいでと言っちゃおかしいんですけども、若いから仕事が見つからなくても若いのにそういう生活保護とかそういうことにはならないだろうというふうに思ってしまうというか。とにかく、一時的にはいろいろ駆け込んで助けてもらって、その後いろいろ世話してもらったりとかしてほしいんですけども、支援を受けたりして、あとは自分でちゃんと自立して生活できるようにと設計できればいいんですけども、どうも我慢してしまってる人が多い。そして、いろいろしまい極限まで追い詰められて結局事件を起こしてしまうとか、それから事件に巻き込まれるとか、そういうことが今年は随分沢山起きているというか。それで、そういうことになるのはやはり国なども女性活躍女性活躍といいますが、その女性活躍以前の問題でまだまだ女性自身の意識ということもあるかもしれないんですけども、女性ばかりじゃなくて日本の世の中自体がまだまだちょっと死語になりつつあるのかもわかりませんが、男尊女卑的な事がまだ根底にあって、それで女性はやはりまだ男性に生活するのに、自活ということではなく頼ってる部分が多いのかな。そして、男性もやはり女性を守ろうとしているというか、それが平和な時で順風満帆な時はいいんですけども、いざ何か大きなことが起こって、その男性が家族を守り切れなとかなくなった時に、弱い立場の女性だったりというところにしわ寄せがくるというか、窮地に追い込まれることが多いんじゃないかなというふうに思っています。市議員という立場で何ができるかといったら、本当にどうということなんだろうかと自分でも考えるんですけども、とにかく学校の教育、やはり今の大人の人たちにもその共生、それから家事の分担です。家の中での、一番これは大きいと思ってるんですけども。女性が活躍しようとか、それから会社とかいろいろな組織の中で上に立ってとか、リーダーシップとってとか、決定機関とかに参画してやっていこうと思った時に、なかなか女性は引っ込み思案で出て来ないんだということをよく言われるんですけども、それはそればかりではなくてやはり家事であったり、いろいろ負担している部分が家の中でも多いので、これ以外に出れない。もう外でも働いてるし、家事も精いっぱいやって、その上そういう責任を押し付けられるものまでは、もし家事がなくてやれと言われたら多分できるという人は沢山いると思うんですけども。いろいろアンケートの結果なんかでも出てるんですけども、家事の負担割合が女性は大体7割

です。あと、男性でやってるという人は大体1割ぐらいです。それがまだ今の現状なので大半は家事を一手に掃除、洗濯、炊事ですね。子供の教育とかに関しては、夫婦で分担してるというのが随分多いんですけども、とにかくその3つの家事、掃除、洗濯、炊事、それをもうちょっと家庭の中で男性が4割5割、本当は5割理想なんですけれども、3割4割でも負担を背負ってくれたらもうちょっと女性が本当に生き生きと働いて、そしていざとなった時に自分で自分の身を守れるような日本の社会もなってくるんじゃないかなんてことを考えています。なんかいろいろ取り留めのない話をしてしまいましたけれども、これまでにさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

○根本あゆみ会員



皆さん、こんにちは。こういった所で喋るのって慣れてないもんですから、私も取り留めのない話になってしまうと思うんですけども、とりあえず現状報告的な事を今日は喋りたいと思って来ました。その前に、先程女性会員、私はまだ認められてないと。よくぞ言ってくれたと。私は唯一、この中で結婚もしてないし、子供もいないと。女の子なんだということで納得しました。その中で、今の佐川さんの女性のやっばりなんていうんですかね、弱さであり強さでありというふうな部分。そんなの聞いて私もそうだなと思ったんですけども、今のこのコロナという部分で連日テレビでもいろいろ報道されてますけども、本当に私の仕事は居酒屋なので、もう毎日泣きたかったり頑張ろうと思ったり、それのずっと繰り返してやってきました。ただ、本当に落ち込んだり泣きたくて泣きたくてという時ももちろんあって、でも誰にも頼れないしどうしようかと思つて、本当に今日は私何を喋ろうかと思つた時に、会費も出せないしロータリーにいられないなって思つた部分もありました。その中で、本当に感情が躁鬱になってきて、この間抜けたんですよ。それがちょうどこの間、金田さんが来ていただいてその時に亡くなった吉成さんが言っていたという言葉教えていただいて、ロータリーというのは要はポール・ハリスが仕事を分け合うと。その困った時こそロータリーなんだと。会員が60人いて、60年の歴史だったら3600年の歴史がある。だから、そういうふうな部分を聞いた時に、ああそうかと思つたんですよ。私はここにいる人達に甘えていいのかなとちょっと思っちゃったんで、それを今日は伝えたくてこの場に立たせていただきました。皆さん、本当に大変な中ではあると思うんですけども、是非うちの設備は一応三密回避、空気の入替え、除菌、そういったものを徹底してやっていますので、他のお店もそうでしょうけども、小さい集まりでいいので顔を見せに来ていただければと思います。その中で、やっぱり一番助かったのはコロナ禍の補助金制度ですね。飲食店の部分で4月5月というのは営業停止がかかってたので、本当に5割以下というレベルじゃなくて8割9割の減で、テイクアウトでなんとか2割の売り上げを保ったという状態だったので、すぐ持続化補助金の申請しまして、200万すぐいただいたんです。私、本当に早かったんですよ。5月の1日くらいには4月の集計して出してたので、5月中にもう200万いただ

いたんですよ。そこで失敗したのは、うちの会社5月決算だったんですね。その持続化の部分、国の部分、あと西郷村、福島県で合計で260万くらい貰ったんですけど、あれっ、そこまで赤字にはなっていないぞみたいな。結局、納税するようなみたいな感じになっちゃったという。でも、お金というのはやっぱりそういう補助金制度があったというのは、自分にとっては前向きになれるガソリンになりました。震災の時なんかは私頑張っちゃったもんですから、原発の保証金、売り上げの補填のやつ、あの時本当に頑張っちゃったもんですから、売り上げ120パーセントくらいに上がっちゃって1円も貰えなくて、でもそれより自分で稼いだ方がいいかと思ってやったんですけど、今回のコロナに関してはさすがに自分の頑張りだけではどうもできなくて、ということで助かりました。私の友達がフィリピンでお店を始めたんですけども、ちょっと多少なりとも私も援助してるんですが島なんです、ボホール島という島。結局、外部から誰も入ってこないんです。フィリピン政府というのは完全ロックダウンを、フィリピンで7000以上の島があるんですよ。その中に、マニラは確かに流行ってるかもしれないけど、その島自体は発症者が全然ないわけなんです。それでもロックダウンという形になっちゃって、実は彼女オープンして3日後にロックダウンになっちゃったんですよ。で、未だに解除にならずという形で、もう本当に苦しい状態で、フィリピン人あの陽気なフィリピン人ですら、やっぱり自殺者が出て。日本の社会というのは、こういうように補助金制度とか、さっき言った生活保護とかそういうのがあるというのが、日本の素晴らしいところだなと私は思います。ということで、しめさせていただきます。ありがとうございました。

○大住由香里会員



皆さん、こんにちは。改めまして、大住由香里です。私は北真船にあります「デイサービスひいらぎ」の代表をさせていただいて、今年7期目走らせていただいているんですけども、3年前に新入会員卓話でお話させていただいた時は、良い介護をすればお金じゃないんだ、良い介護をして対価としてお金をいただければそれでいいんだと思ってたんですけども、今、お客さんが増えてスタッフも増えて、そういったところでだんだんお金って大切なかなって思えてきているところであります。あとは、女性女性というところで話が来たんですけども、女性だからなのか、まだまだ未熟なのか、なんか悔しい思いを仕事上でもすることがあって、それを愚痴った時にそれは力を付けるしかないなと。その力というのは、やっぱりお金でもあるんだよみたいなアドバイスをいただいた時に、もう本当にいやいやお金じゃないんですみたいな感じだったんですけども、今はなんとなくわかってきたかなんて思って、スタッフを守るため、利用者さんを守るためにやらせていただいているんですが、今日はその収入という部分を度外視して、昨日、白河市の市役所の高齢福祉課に行きまして、お渡しさせていただいているこの認知症ケアパスという冊子をいただきました。貰えるのかなんて思ったんですけど、すんなり40部位ただけて白河市がちゃんと作っていて良かつ

たなと思ったんですけど、こちら私は「ひいらぎ」通所介護デイサービスやらせていただいている中で、利用者さん、認知症の方、この頃認知症の方が多いです。その中で、自分の意志に反して外を歩いてしまう方、家族に迷惑をかける方、そういう方がいらっしやいます。そういったところで家族だけが大変な思いをしているので、外を歩いて行かれる方が時折自分でヒッチハイクをしたりして「ひいらぎ」に来たりもするんですけども、それもできなくなって交番に届けてもらうようになった。そうすると、交番から連絡を貰うようになりました。そういった中で、お巡りさんから、またですよ、また来てますよ。今日、休みなんですかとか、なんか怒られてるようなお電話をいただくことがあって、ふとなんで怒られなきゃいけないんだろうみたいな、そういう方々を守るためにも交番だったり、そういうものがあるんじゃないのかなと思った時に、私達介護職員だけじゃなく全体の認知症という理解が必要なのかなと、地域で暮らすというのはそういうことなのかなと思いはじめて、このロータリーの皆さんに是非今日お伝えしたいのは、この冊子の8ページにあります認知症について正しく理解しようというところに、認知症サポーターになろうというのがあるんですけども、国の政策でもあるんですけども認知症を知ってもらって、それだけでも住みやすい地域ができるんじゃないのかなという政策で、白河市でも3000人の方がそういうサポーターになって、こういうオレンジリング見たことはあると思んですけども、たまにかけいらっしやる方がいると思うんですけど、そういうサポーターになってください。サポーターになる講座を受けていただけませんかというお願いになりました。冊子じゃなくて、一枚、認知症サポーター養成講座を受講しませんかというレジュメがあるんですけども、そちらに書いてあるように企業の単位とかで10名程度以上であれば、90分の講座を受けると認知症サポーターという形で認知症を理解できるという形になってますので、是非是非会社の職員さんとか、そういう町に触れるもちろん家族さんにも触れると思うんですけど、そういう部分も必要になっていって、ゆくゆくは私たちが住みやすい町を作っていけるのかなと思いますので、声を上げさせていただきます。是非、受けていただけるのであれば私を通してでもいいので、お声かけていただければと思います。よろしくお願ひします。

○佐川京子会員

先程の私のお話で、私、24日～25日と一泊二日で入院しまして、26日が臨時議会だったんですね。それで、頭のとっぺんだったのでまだこうガーゼで押さえているような状況だったので、黒い毛糸の帽子を被ってそれで議会に行ったんですね。それで議場が新しくなりました耐震補強で市役所ずっと工事してるんですけども、今まで表郷でこの一年以上、議会やっていたんですが、12月議会から本庁のほうに戻りまして、それで臨時議会の時に集合写真を撮ったんですね。次の議会便りの時に、きっとその写真が載ると思うんですけども、私だけちょっと黒の毛糸の帽子被ってて、別にふざけて被ってるわけではないので、皆さん、すいません。なんかこの議員変だと言われた時には、ちょっと事情があってというふうに言ってください。お願ひします。